

住民説明会の結果報告と アンケート結果

令和8年3月26日
新潟県

住民説明会の開催概要

・新島崎川水系河川整備計画 住民説明会の開催状況

開催地	開催日時	会場	住民出席者
長岡市	令和8年2月19日(水) 19:00~20:50	長岡市 寺泊コミュニティセンター 1階 大会議室	77名

・説明の内容:新島崎川水系の河川整備計画について



住民説明会における主な意見(1)

住民説明会では以下のような意見交換が行われた。

項目	主な意見	事務局回答
治水	新島崎川の改修は考えていないのか。トンネルをやり直したり、大きくするというのを期待したが、この30年くらいの間はトンネルを修理・維持していくということか。	河川整備基本方針のなかで、将来的には新しいトンネルを掘るなどの新島崎川の流下能力を向上させることは位置付けているが、まずはトンネル補修を行うこととしている。
	補修をしているうちに、また悪くなってきた、また補修をするという繰り返しにならないか。	新島崎川は、下流がトンネルとなっている特殊な河川であり、トンネルが詰まってしまうと海に水が流れなくなってしまうことから、水が流れる状態を継続していくことは非常に重要と考えている。また、この補修の中で、例えばトンネル表面を円滑にするなど、水が流れやすくなる工夫をしていきたい。

住民説明会における主な意見(2)

項目	主な意見	事務局回答
治水	新しいトンネルを掘るという話もあったが、経済的なことを考えると狭いトンネルを広げた方がよいのではないか。	将来的には流下能力を向上させる予定だが、その手法は決めていない。ご意見があったことを協議会に報告する。
	川の水量を実測したことはあるか、実際の量と違うように思われる。	全ての河川に観測機器が付いている訳ではなく、新島崎川でも危機管理型水位計が中上流部に1箇所あるのみである。この河川整備計画に記載の流量は、計算から求めたものである。
	圃場整備が進んで水路も整備され、雨が降ると河川への水の出が早くなっているが、トンネル出口からあまり水が出ずに、田んぼの水がずっと留まっている。	トンネルの流量が分かれば良いとは思いますが、流量を実測するには、水位を測るだけでなく、実際に洪水が起きたときの流速等も観測する必要があるなど、すぐできるというものではない。ご意見があったことを流域協議会に報告する。

住民説明会における主な意見(2)

項目	主な意見	事務局回答
治水	30年の計画ということであるが、雨の状況も変わって一気に降るようになっており、トンネルに悪い部分があれば今からでもすぐに修理できないか。河川整備計画を決めないと修理できないのか。	特に急がれる部分は、既に緊急的に補修を行っている。ただトンネルは1キロ以上、しかも2本もあるので、これを実施するには予算も必要となる。河川整備計画を策定して、国の事業を活用しながら実施していきたいと考えている。
	円上寺隧道について極端に悪い部分があれば早々に修理していただきたいし、悪いところは絶対に補修してもらいたい。	このたび新島崎川で河川整備計画を作成しているのは、トンネル補修の必要性を感じているからであるのご理解いただきたい。

住民説明会における主な意見(3)

項目	主な意見	事務局回答
その他	昔の隧道と新しい隧道の間の草刈りをしていただきたい。	後ほど連絡先をお聞きするので、現場の状況を確認して対応したい。
	双川橋から県道が平行に走っているところは、昔は県道側の草刈りを地元でやっていたが、急こう配で危険だということで今はしていない。最近は草木が生え放題で、大きな木も生い茂っている状況で県道の下がえぐれたりしているので、状況を調査して欲しい。	現地の状況を確認する。

住民説明会における主な意見(3)

項目	主な意見	事務局回答
その他	計画の説明を受けたが、何をいつまでにやるのか具体的に決まっていないのか、予算は決まっていないのか。(民間であればこんな話聞く必要ない、あなた方の自己満足にしか聞こえない。)	河川整備計画で整備目標など定めたうえで、その後、事業化したなかで、工事の規模や具体的な手順などが決まってくるものとなる。 事業を国に要望するときにも、河川整備計画を策定しておくことが必要となる。
	最近、毎年4月後半くらいになると新円上寺隧道から橋のあたりに架けて鳥が来るが、鉄砲で撃ちに来る人がいるが危険なので、立て看板など立ててもらいたい。	河川管理者としては、猟銃の取扱いなどは所管外となるため、それを所管する部署に連絡する。

住民アンケートの実施について

■ アンケート目的

- ・ 河川について、日ごろ地域住民の皆さんが感じていることを広く伺い、今後の河川整備・管理を行う際の参考とする。

■ 対象者

- ・ 住民説明会参加者 77名

■ 実施方法

- ・ 住民説明会時にアンケートを配布し、その場で回収

■ 回収率

- ・ 57.1%

■ アンケート調査内容

現在の河川の姿、今後期待される姿、河川への関わり合い等を主眼に
アンケート調査を実施

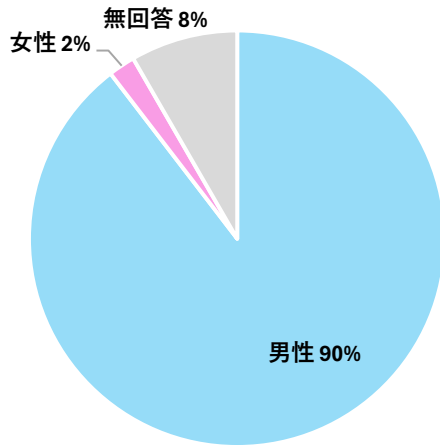
問1 「身近にある河川」についての意識調査

問2 防災情報に関する意識調査

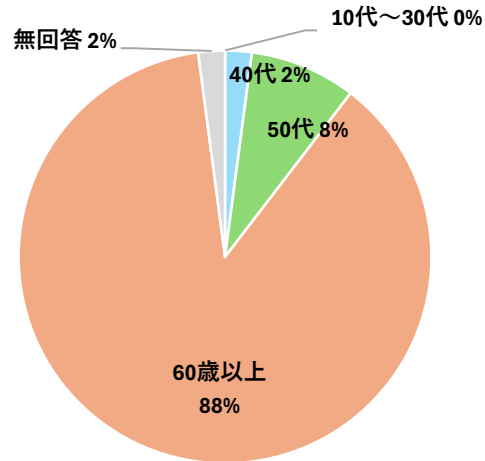
問3 自由意見

アンケート集計結果

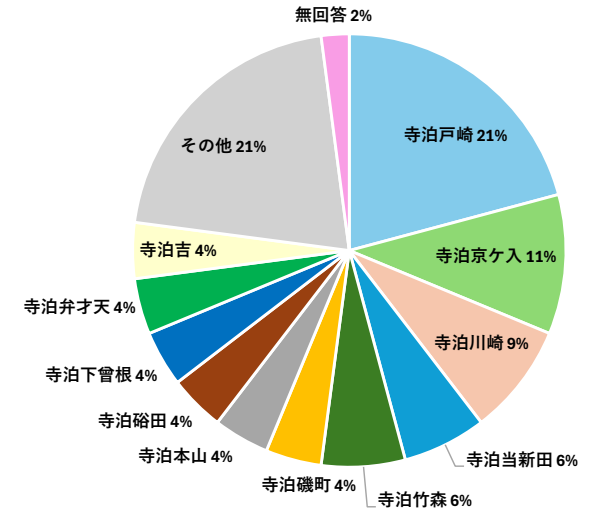
アンケート対象の構成について



男女構成比率



年代別構成比率



地域別構成比率

- ・主な年齢層は60歳以上(アンケート回答者の約9割)
- ・アンケート回答者はほぼ男性になっている

アンケート調査内容

問1 「身近にある河川」についての意識調査

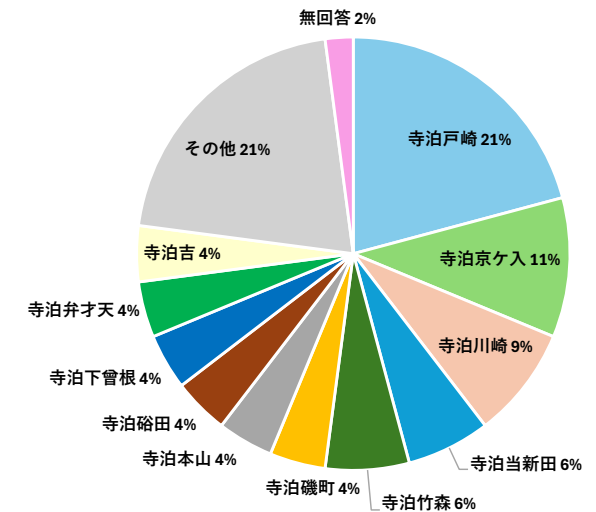
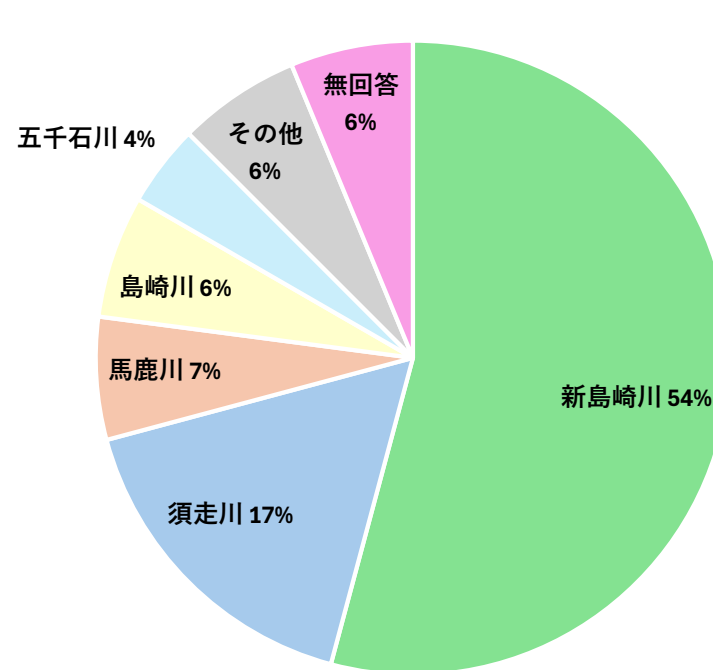
- ① 「身近にある河川」について
- ② 「〃」の変化について(10年くらいの間)
- ③ 「〃」の利用について
- ④ 「〃」の利用目的について
- ⑤ 「〃」で、できると良いと思われることについて
- ⑥ 「〃」の満足度について
- ⑦ 「〃」に期待することについて
- ⑧ 「〃」の除草について
- ⑨ 河川の維持管理(清掃、除草など)について
- ⑩ 河川に関して話し合う集会(ワークショップや、河川の維持管理(清掃、除草など)活動への参加要請・募集について

問2 防災に関する意識調査

問3 自由意見

問1 「身近にある河川」についての意識調査

1-①あなたの「身近にある河川」はどこですか

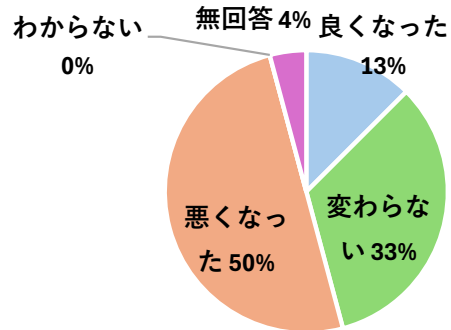


地域別構成比率

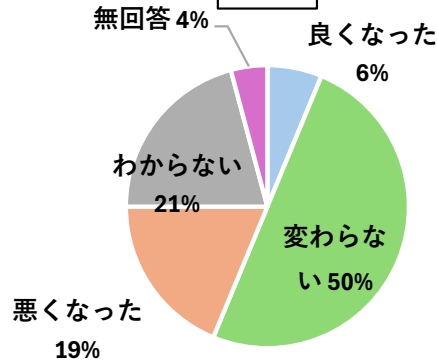
- ・回答者の身近な川として新島崎川が5割以上。
- ・その他の回答例として、信濃川、大河津分水、等の回答があった。

1-②あなたの「身近にある河川」は、この10年くらいの間にどのように変わったと思いますか。

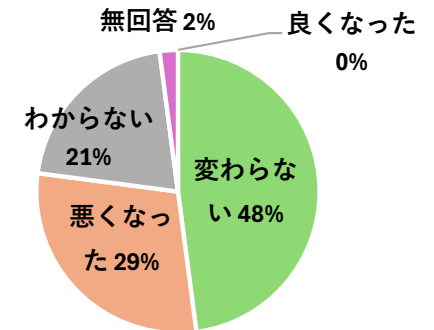
堤防や護岸の整備



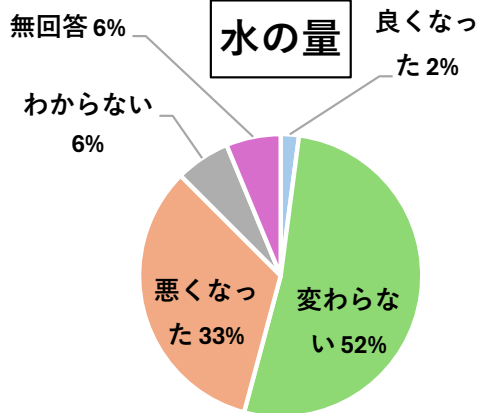
水質



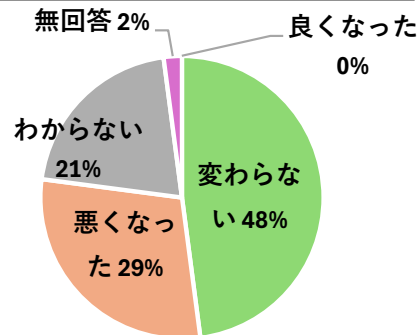
人々が河川で親しむ姿



水の量



動植物の生息・生育環境



・堤防や護岸の整備の項目に良くなったの回答があるが1割弱。どの項目も、約8割の方が「変わらない」「悪くなった」と評価している。

1-②あなたの「身近にある河川」は、この10年くらいの間になどのように変わったと思いますか。

その他 変わったと思うこと

【治水面】

◇魚や川の生物が少なくなった。

【維持管理面】

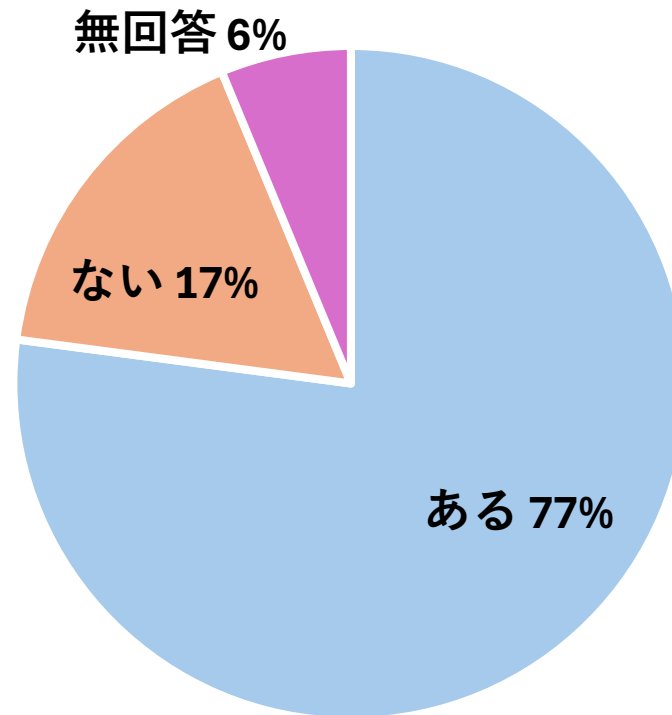
◇護岸工事によって良くなったが、川底のめくれや崩れやすい箇所等、劣化がみられる。

【その他】

◇禁漁期に釣りをを行う釣り人や土砂堆積による景観の悪化等

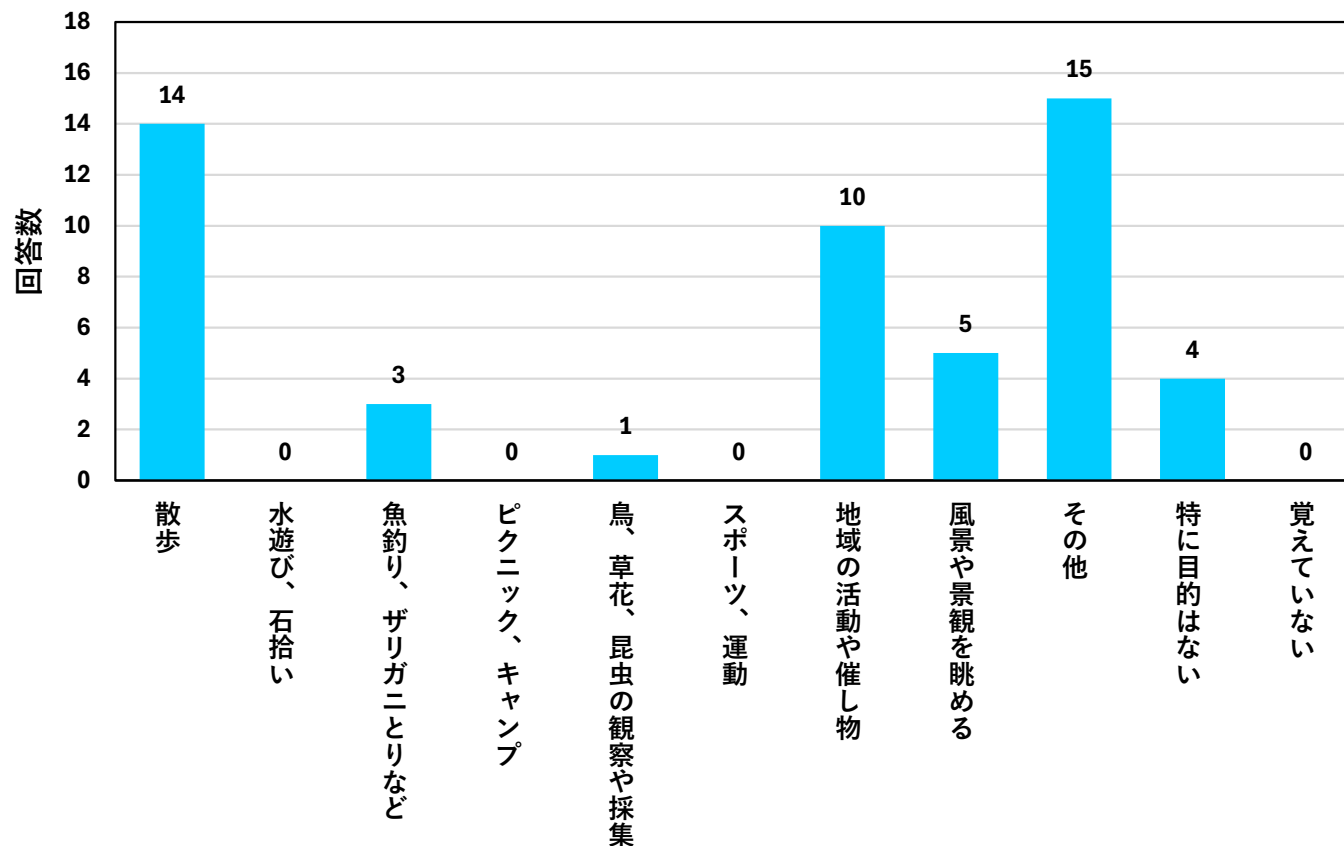
・治水、環境の両面から、河川の適切な維持管理をしていく必要がある。

1—③この1～2年の間に「身近にある河川」に出かけたことはありますか。



・8割の方が、河川に出かけており、何らかの形で利用している。

1-④主にどのような目的で川へ出かけましたか。(複数回答可)



※問1-③で「1. ある」と答えた方だけへの質問

・「散歩」や「風景や景観を眺める」等の回答や地域活動の回答が多かった。

1-④主にどのような目的で川へ出かけましたか。(複数回答可)

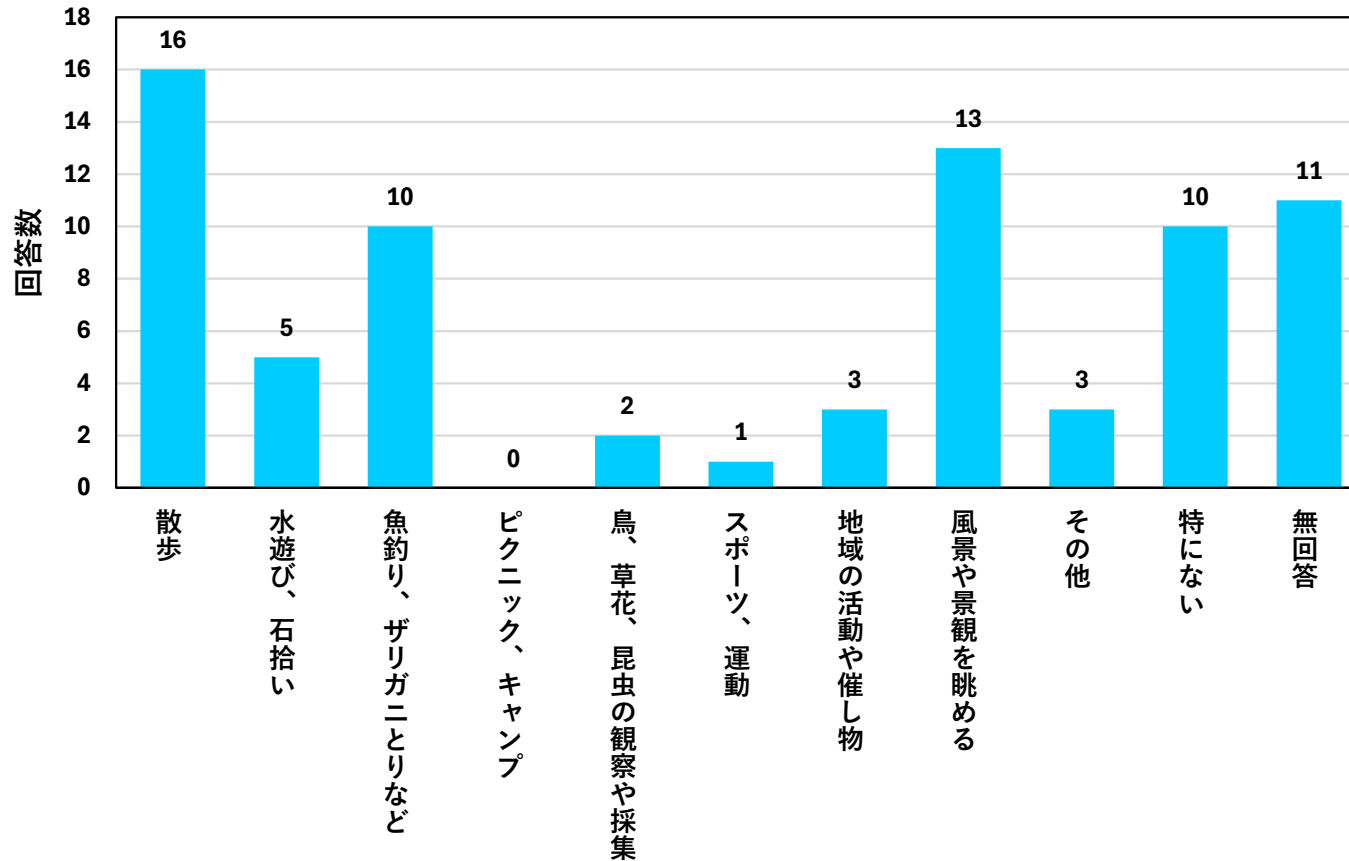
その他 川へ出かけた目的

- ◇除草・草刈り。
- ◇川の状態の確認。(水質、水量、護岸の崩れ等)
- ◇水田用取水ポンプの点検

※問1-③で「1. ある」と答えた方だけへの質問

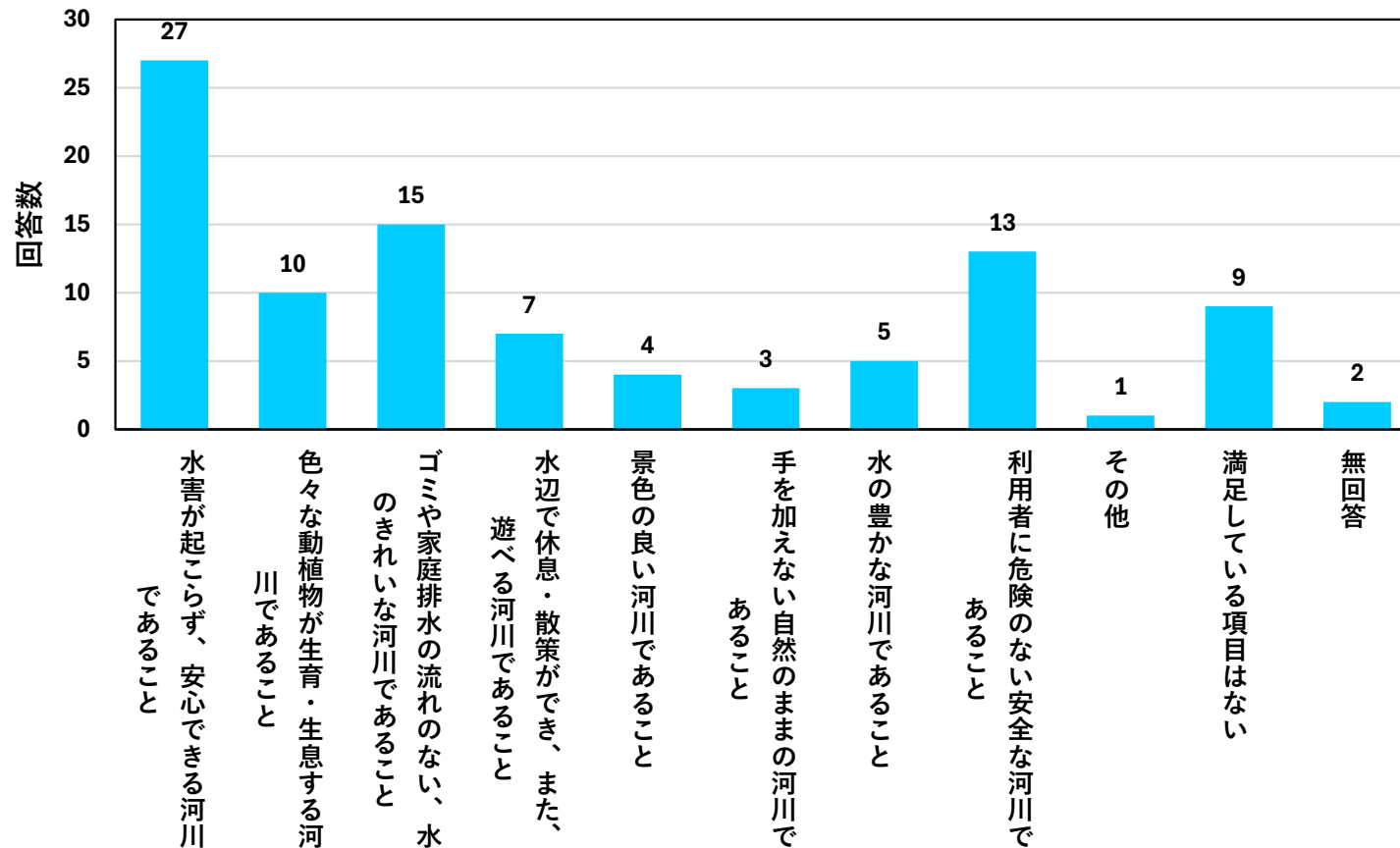
・草刈りや状態の川の水質や水量、護岸の確認等、川の状態に関心がある。

1-⑤これから「身近にある河川」で、できると良いと思うのはどんなことですか。(複数回答可)



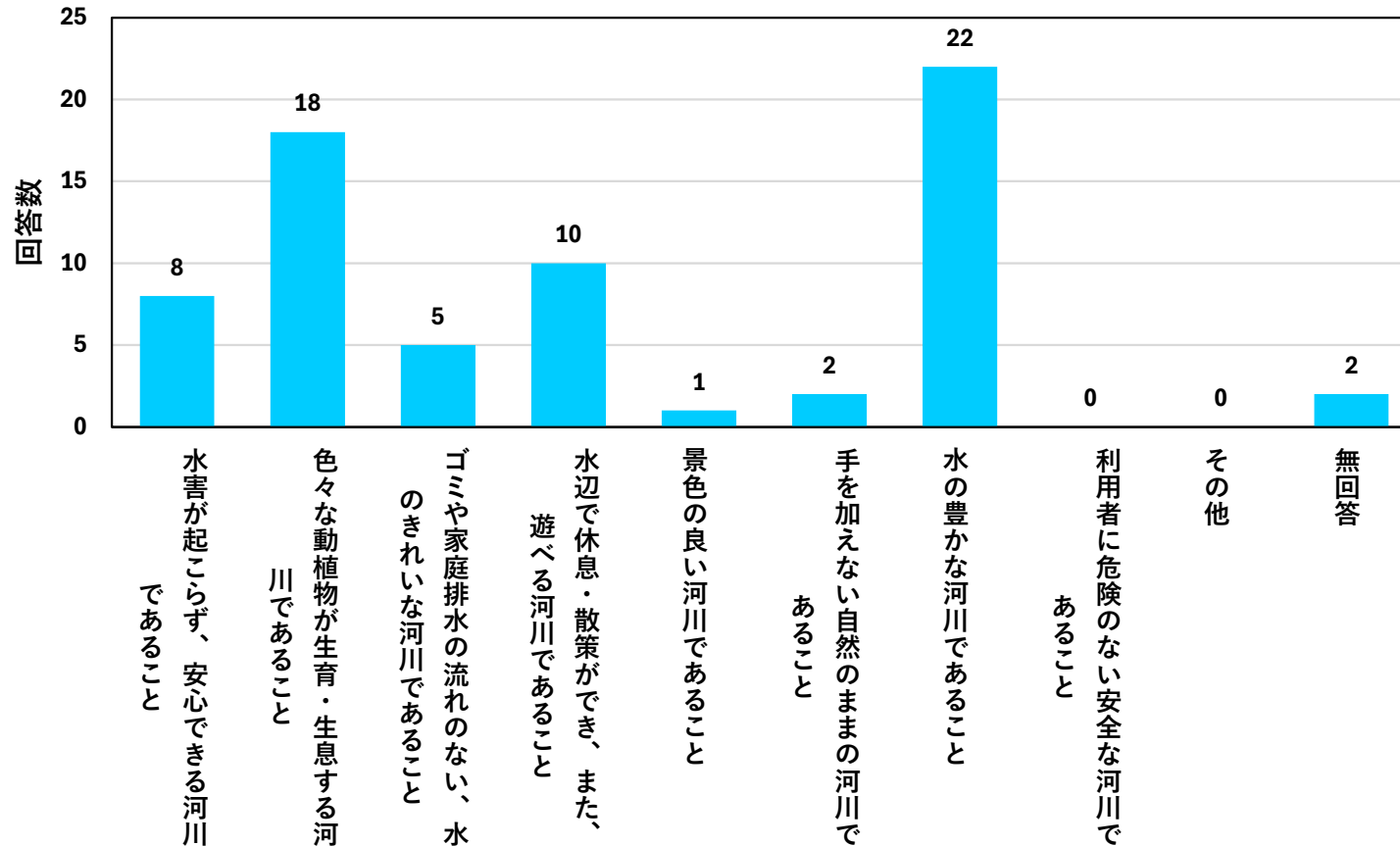
・散歩や景観眺望、採集などに対する期待値が高い。

1—⑥あなたは現在、「身近にある河川」を考えたとき、何について満足していますか。(複数回答可)



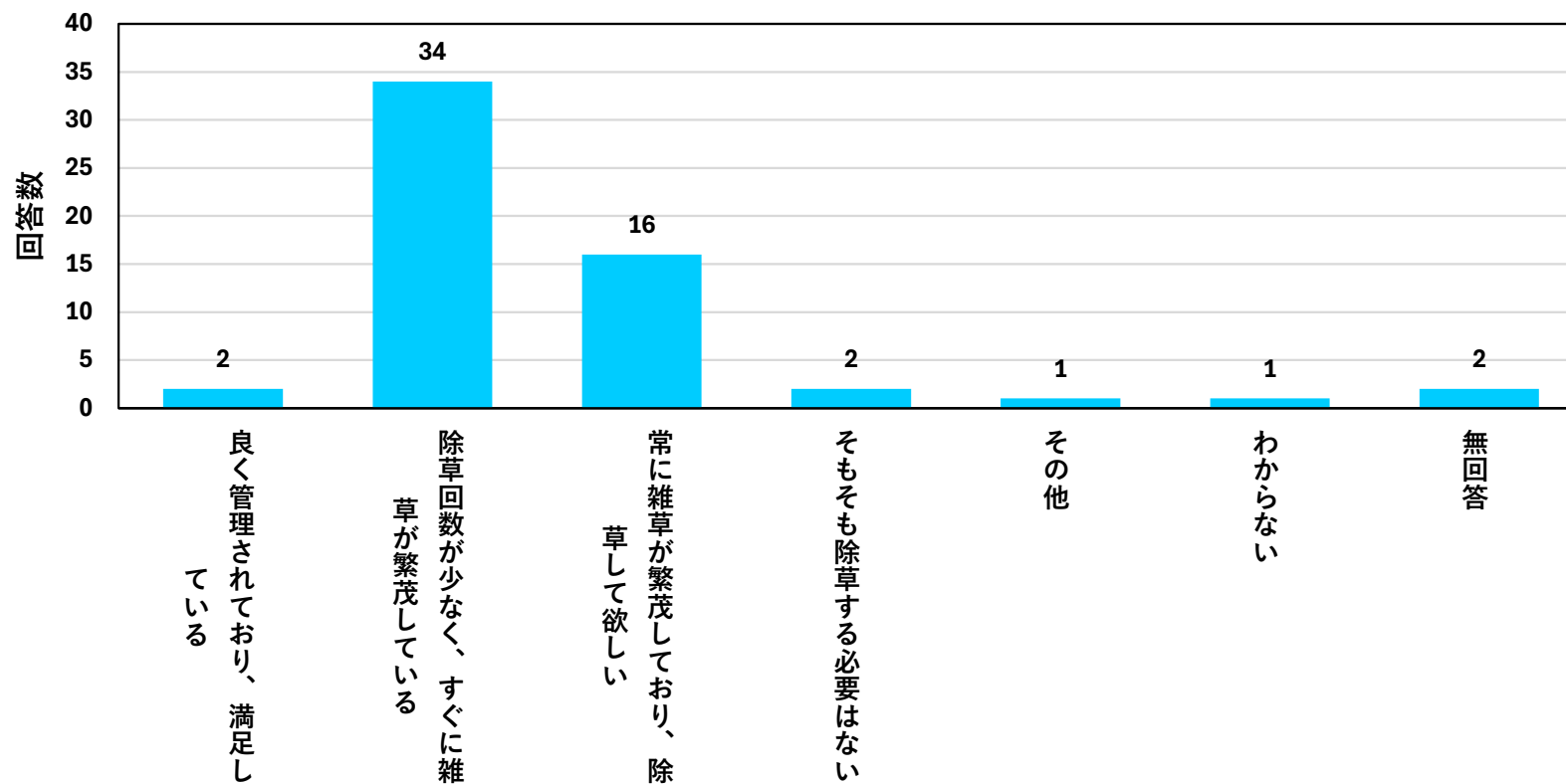
・水害や危険性のない安全な川、ゴミのないきれいな川といった意見が多い。

1-⑦あなたは今後、「身近にある河川」について、特に何を期待しますか。(複数回答可)



・色々な動植物が生育・生息する豊かな環境を期待する回答が多い。

1-⑧あなたの「身近にある河川」の除草について どのように感じていますか。(複数回答可)

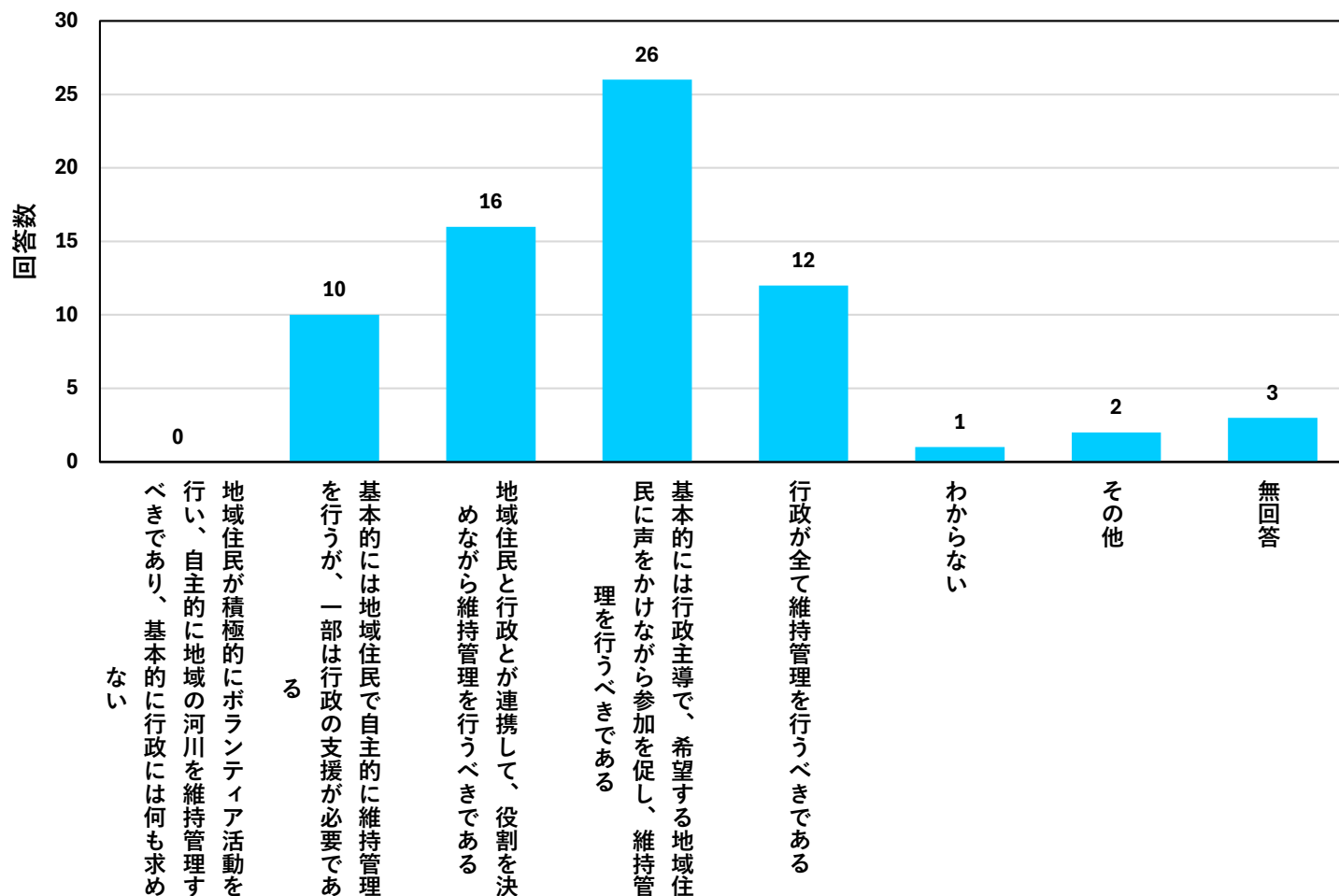


その他 除草について

◇放置されていると思う

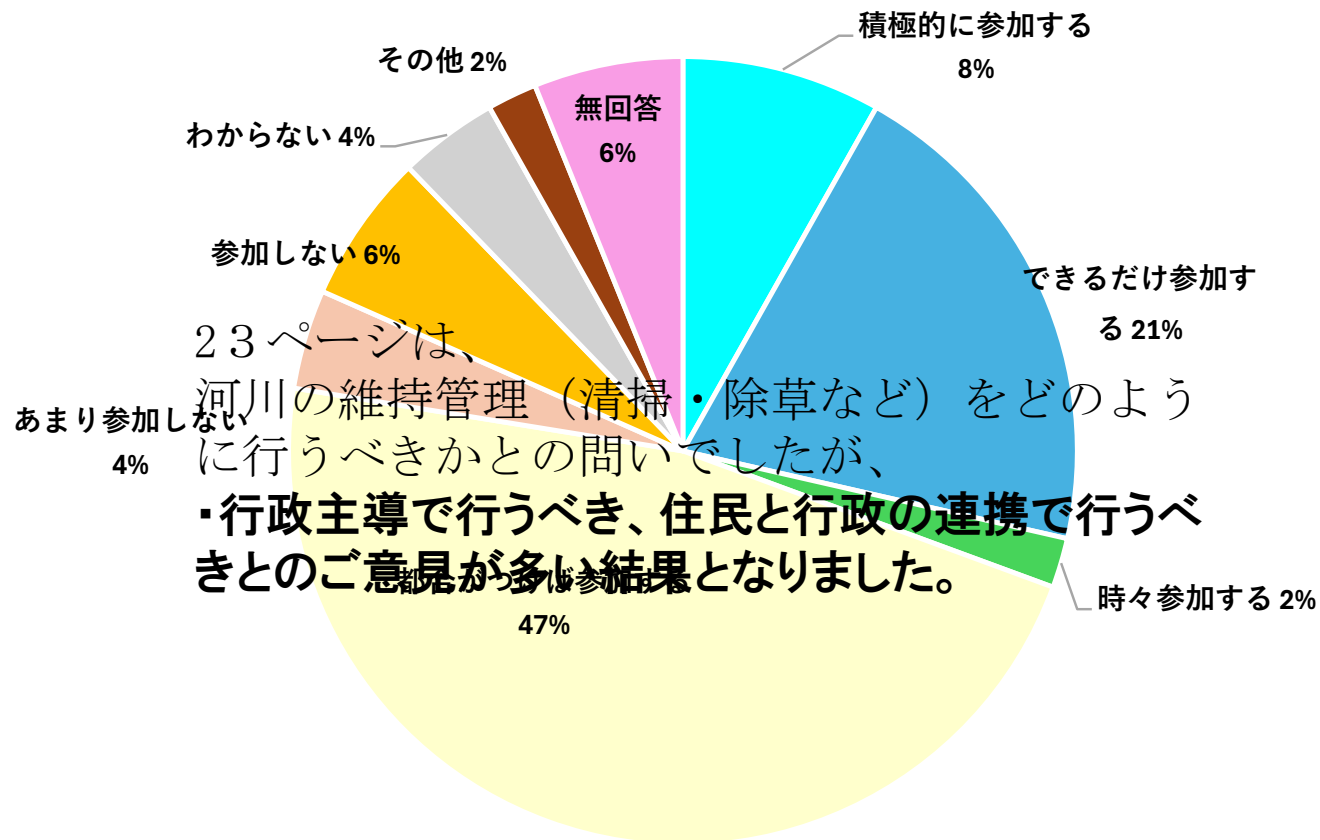
・除草回数が少ない、除草して欲しいという要求が高く、放置されているという意見が出てきている。

1—⑨ 今後、河川の維持管理(清掃、除草など)については、どのように行っていくべきだと思いますか？(複数回答可)



・行政主導で行うべき、住民と行政の連携で行うべきとの意見が多い。

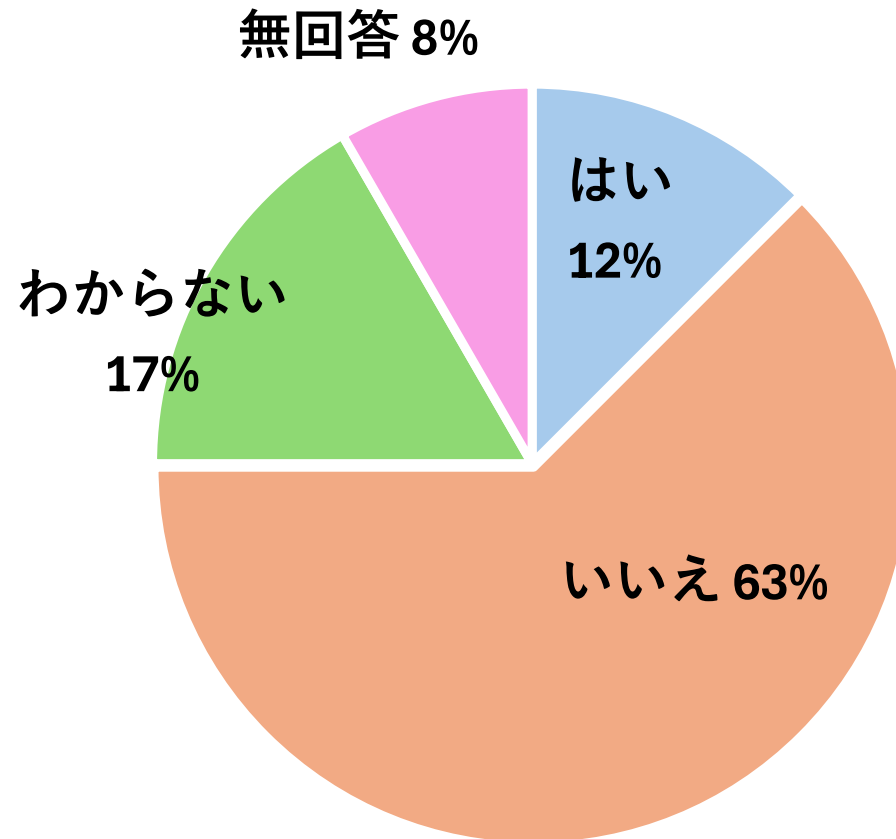
1—⑩今後、あなたは地域やボランティア団体などの呼びかけにより、河川に関して話し合う集会(ワークショップ)や、河川の維持管理(清掃、除草など)活動への参加要請・募集があったら参加する意志はありますか。



・活動への参加について、約8割方が参加に対して肯定的に考えている。

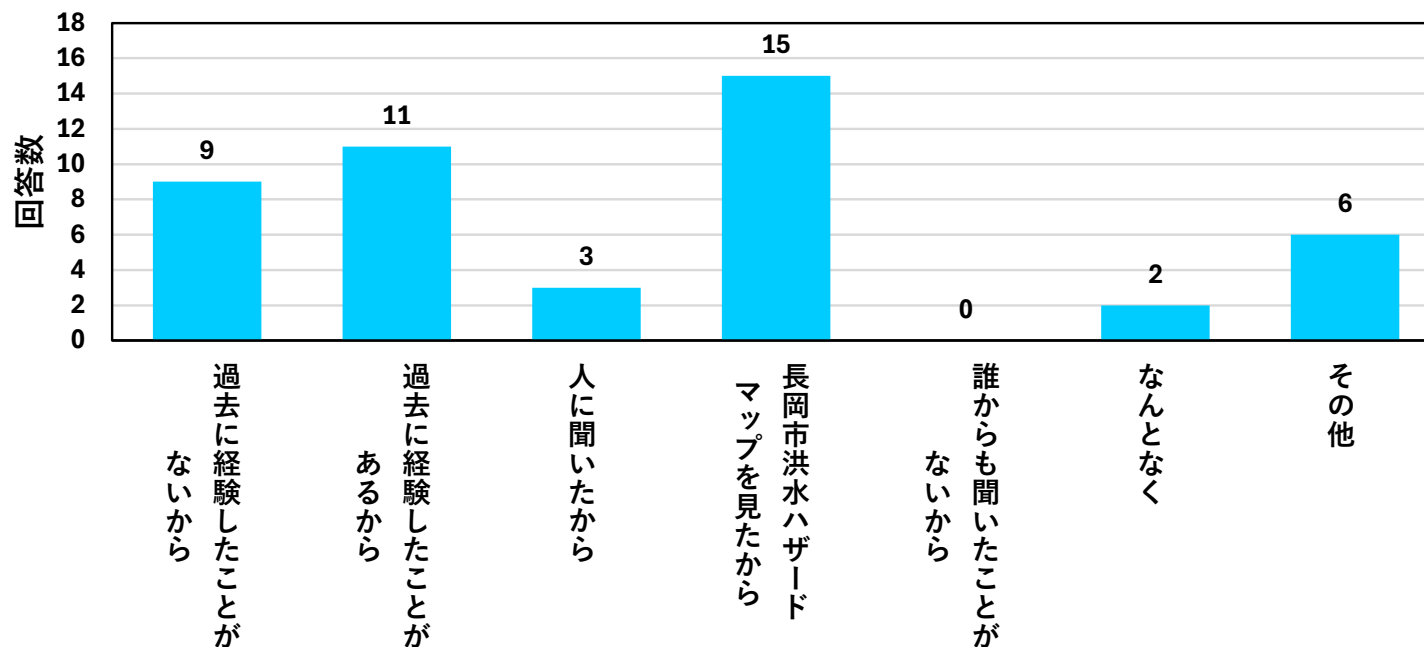
問2 防災情報に関する意識調査

問2-①あなたの住んでいる場所は、 洪水に対して安全だと思いますか。



・約7割の方が洪水に対し安全ではないと思っている。

問2-②問2-①で「1. はい」、「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。
そのように思った理由をお聞かせください。（複数回答可）

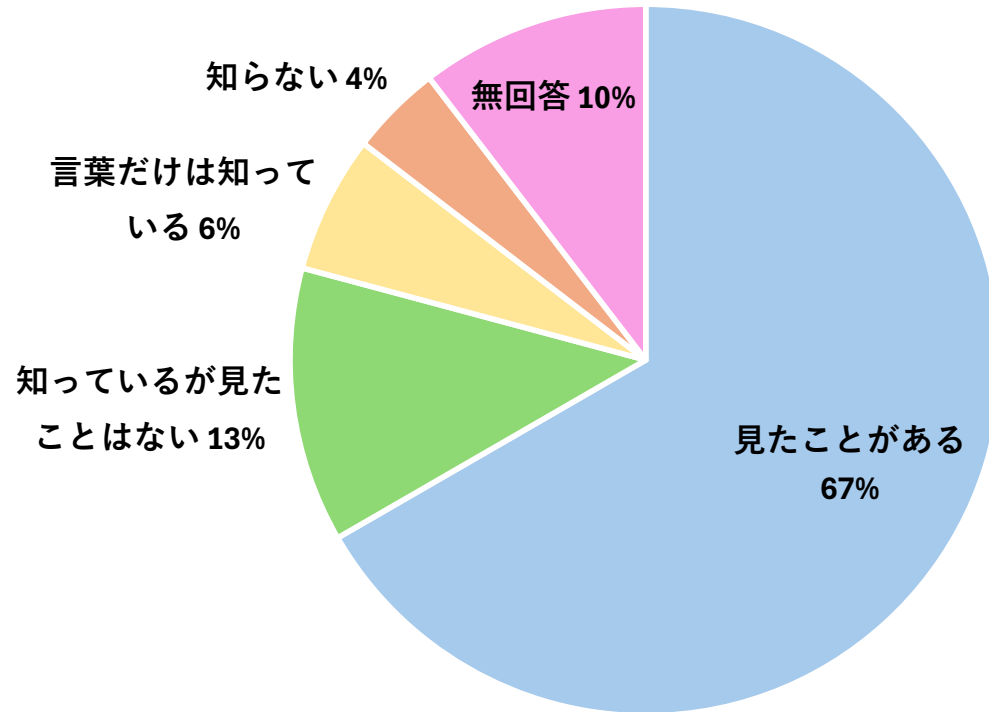


・洪水に対し安全か否かの判断は、経験によるところが多い。また、ハザードマップも参考にしている。

その他 安全の判断について

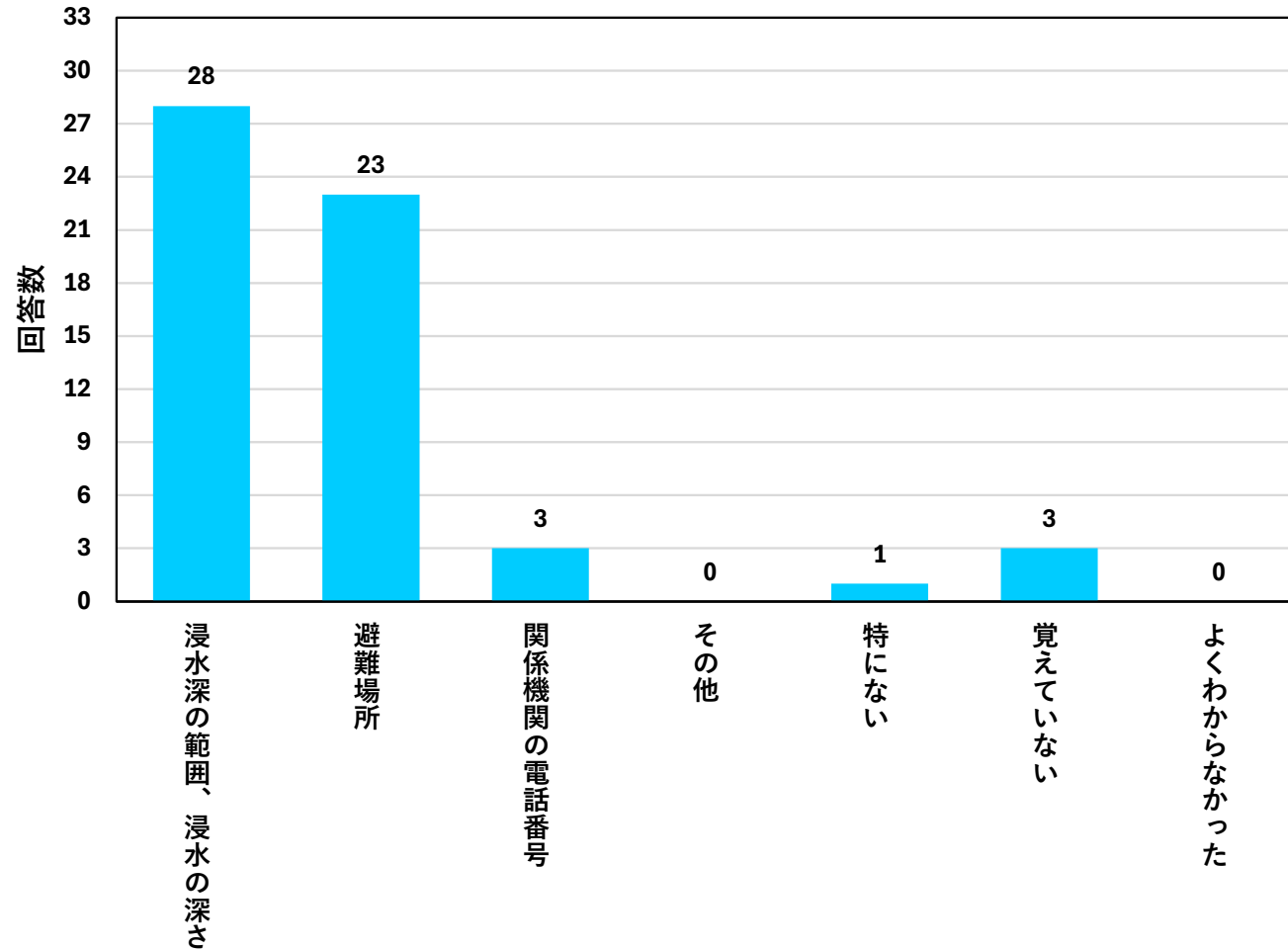
- ◇側面の崩れや低地であることへの不安がある。
- ◇昨今の異常気象も影響している。

問2ー③あなたは「長岡市洪水ハザードマップ」を知っていますか。



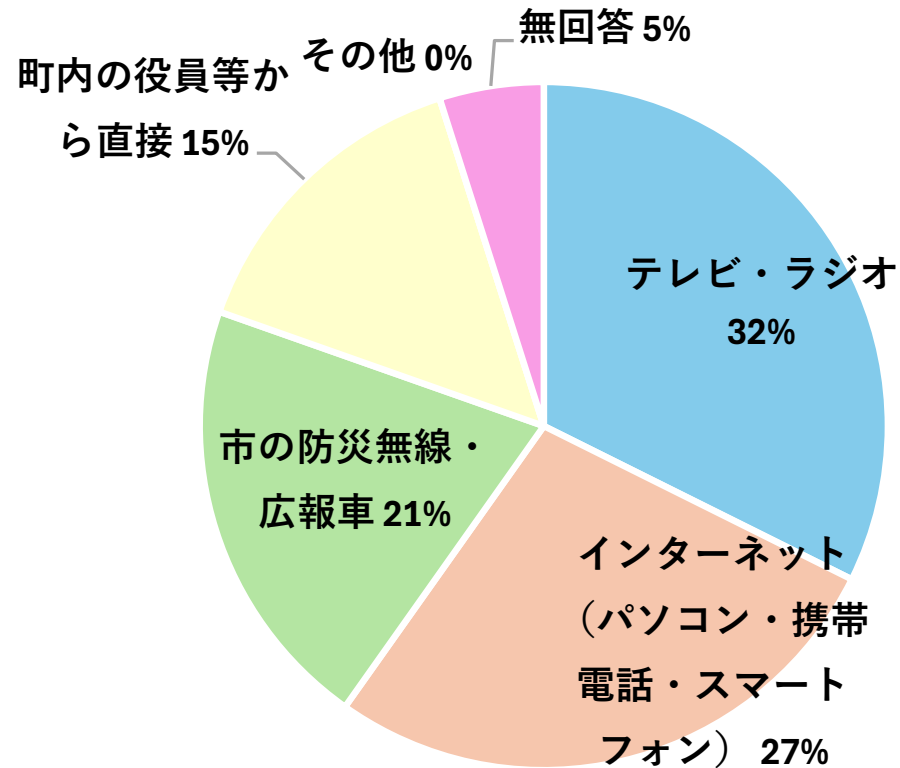
・約7割の方がハザードマップを見たことがある。

問2ー④「長岡市洪水ハザードマップ」の中で、特に参考となったものは何ですか。（複数回答可）



・浸水規模・避難場所について関心が高い。

問2—⑤あなたは大雨による洪水被害が予想される際に、どのような方法で情報を収集しますか。



・テレビ・ラジオとインターネットから約6割程度、市の防災無線・広報車、町内の役員等から直接による人が4割程度である。

問3 自由意見

問3 最後に、河川整備計画(変更素案)をご覧になっての感想・意見、その他河川全般についてお気づきの点などがありましたらお聞かせください。

①治水に関することについて

・特になし

②利水に関することについて

・特になし

③環境に関することについて

・特になし

④維持管理に関することについて

・隧道入口～上流部の堤体嵩上げ、護岸整備等も施工計画目標に位置付けしたものを望みます。隧道閉塞事故を想定した取り組み事項も望みます。
・河川と道路の関連が大きいのでその点を検討いただきたい。特に新島崎川沿いの県道市道は最悪です。(河川側にかたむいている)

問3 最後に、河川整備計画(変更素案)をご覧になっての感想・意見、その他河川全般についてお気づきの点などがありましたらお聞かせください。

⑤その他

- ・広報無線を有効的に地域に密着して情報を即時に広報する。自治会長を通した伝達方法もあり。予測情報も必要。自分で調べるのではなく広く広報する。
- ・具体的な話が決まりましたら知らせていただきたいと思います。

アンケート結果の概要

<注目すべき結果>

- アンケート回答者の約半分が“身近な河川は新島崎川”と回答。
- この10年の身近な河川様子について、どの項目も“2割以上の方が悪くなった”と回答。特に堤防や護岸については“5割の人が悪くなった”と回答。
- 堤防や護岸については“劣化がみられる”との意見があった。また、“魚や川の生物が少なくなっている”ことも指摘されている。
- 約8割の人が“河川に出かけて利用している”と回答。
- 利用目的は“散歩”や“眺望観測”、“地域活動”が多数。
- 身近な河川の除草状況については、“回数が少ない”との意見が多く、“放置されている”との声もあり。
- 約8割の人が“河川のワークショップや維持活動に参加することに前向き”な意見を出している。
- 約7割の人が“長岡市洪水ハザードマップを見たことがある”と回答
- 身近な河川に対し、今後は“色々な動植物が生育・生息する豊かな環境の河川”になってほしいと期待されている。

住民説明会とアンケート結果のまとめ

- 住民説明会での意見やアンケート結果を踏まえ、新島崎川に求められている事項を整理すると以下の通りとなる。

<河川の整備・維持管理>

- 「**除草**」について、住民からの要望が非常に多く、また、除草などを含め、住民自ら河川環境整備などに参加しようという**意欲が高い**
- このほか、**堤防や護岸の整備**など治水安全度向上への要望あり

<環境>

- **住民が日常的に利用できるような河川**の適切な空間利用の促進
- 住民の身近にある河川に生息する**多様な動植物に配慮した河川整備**

<防災>

- 洪水浸水想定区域図をもとに市が作成した**洪水ハザードマップ**の認知、活用が進んでいる

住民アンケートにおける意見について、
整備計画本文へ**新たに記載**する事項等はありませんでした。

(主に本文P.15～16などに記載あり)